

平成28年12月26日

No. 95

日立理科クラブ通信



日立理科クラブ

「冬休み講座」 カンブリア紀に生きる不思議な生き物 ～ 子どもたちによるカンブリア紀の生き物再現～

12月23日(金)に、視聴覚センター・映像セミナー室で行われた「冬休み講座」について紹介します。この講座は、日立理科クラブの協力を受け、小中学生を対象に実施しました。高萩や東海村からも参加者が来るなど、今回参加した児童生徒は、「カンブリア紀の不思議な生き物」にとても関心が高く、知識も豊富でした。二部構成で、一部は「映像で見るふしぎな生き物」、二部は「紙で作ろうふしぎな生き物」です。

「冬休み講座」のねらいは、次のとおりです。

- 多賀山地には、約5億年前のカンブリア紀後期の地層が分布しており、この地層が日本最古の地層であることを学び、カンブリア紀に出現した生き物を見つめる機会とする。
- ペーパークラフトを活用してカンブリア紀の生き物たちを再現し、映像で見るカンブリア紀の生き物の生態が、現在の生き物に繋がっていることを学ぶ場とする。



視聴覚センター主催「冬休み講座」

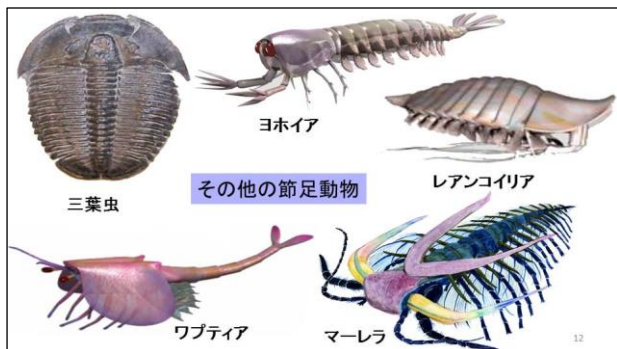


講師 田切美智雄先生

児童生徒、保護者、日立理科クラブ関係者を含めて総数61名の参加者があり、午前・午後の部と、とても盛り上がりました。特に、質問コーナーでは、不思議な生き物の生態、化石の見つけ方、化石の価値など、子どもの発想で疑問に思っていることが、次から次へと講師の田切先生に投げかけられていました。鋭い質問に、保護者も目を見張るほどでした。カンブリア紀の最強の生き物「アノマロカリス」のペーパークラフト作りでは、時間短縮のため事前の準備をして行いました。どの子も自分の作った作品に満足し、「学校の友達に見せたい。」と、うれしそうな表情を示していました。

大型スクリーンに映し出された不思議な生き物の生態や迫力ある映像と専門的な講師の話に、子どもたちはとても引き付けられていました。冬休みに入った初日の出来事ですが、参加した子どもたちにとって貴重な体験になったのではないかと思います。

※ 映像中の資料の一部



文責 日立理科クラブ 特別会員 岩波 英一
日立理科クラブ事務所 Tel/FAX 0294-24-3104